

その幸せを、守りたい



9月・10月は「動物の飼い方マナーアップ期間」です。ペットを飼っている人、これから飼いたいと考えている人は飼い方や心構えについて今一度考え、飼い主とペットが共に幸せに暮らせるようにしましょう。

固環境保全課 ☎(29)5100

Interview



山口県岩国健康福祉センター
獣医師 古川勝也 さん

不妊・去勢手術の大切さを 知って欲しい

「まだ子供だから大丈夫だと思った」そう言つて、不妊・去勢手術をしないまま犬や猫を飼った結果、世話をするのができないほど繁殖してしまう、いわゆる多頭飼育崩壊の悲惨な現場をこれまで幾度も見てきました。中には餌不足のために攻撃し合つてけがを負ってしまったり、衛生環境の問題のために病気になるってしまったりした動物もありました。

このような事態は不妊・去勢手術を行うことで防ぐことができます。早ければ犬は生後半年、猫は生後4カ月で繁殖できる体に成長し、妊娠・出産が可能になります。そのため犬猫ともに早目に不妊・去勢手術を受けることが望ましい

です。もちろん手術にはお金もかかりますし、麻酔事故のリスクもあります。しかし大きな鳴き声で鳴く、外に出たがるなどの発情期特有の困った行動が少なくなり、動物自身にとっても発情期のストレスを軽減することができます。また望まない妊娠や感染症から身を守ることができるなどのメリットも多くあります。

不妊・去勢手術を受けることは飼い主にとっても動物にとっても非常に大切なことです。犬や猫を飼っている人、これから飼う人は正しい知識を持ち、適切に手術を行つてほしいと思います。

猫の飼育は必ず屋内で

「外に出たがつてかわいそうだから出している」という話を聞くことがあります。猫を室内から出さないことはかわいそうではありません。交通事故や迷子、感染症などから守るために猫は必ず屋内で飼いましょう。室内に高さのある遊び場を作つてあげること、猫は屋内でもストレスなく暮らしていただけます。

また連絡先を書いた迷子札を首に付けましょう。万が一、猫が外

に出て迷子になって保護された際に、帰って来る可能性がぐんと上がります。

これからペットを飼うことを考えている人に

ペットは飼い主を選ぶことはできません。一度飼い始めると、動物たちにとっては飼い主が全てです。飼い主が放棄すると動物たちは路頭に迷ってしまうんです。ですからまず、自分の10年後、20年後に体力や収入、住む環境がどうなっているかを考え、最後まで飼い続けることができるのかを検討してもらいたいですね。少しでも不安がある人は飼わないという選択も動物に対する愛だと思います。

これからペットを迎える人は、命を預かるという責任を持ち、ペットとともに幸せに暮らせる飼い方を考えていきましょう。

にゃんて
ステキな

飼い主だワン



飼い主の私たちが できること

2 年に1回の狂犬病予防接種

無登録・未注射は法律違反です。定められた期間内に必ず接種させましょう。

4 屋内飼育の徹底（特に猫）

病気や事故、迷子から愛するペットを守るため必ず屋内で飼育しましょう。

1 狂犬病予防法に 基づく飼い犬の登録

犬を飼っている人は市に飼い犬を登録する必要があります。

3 犬猫ともに首輪などで 身元表示をする

連絡先を記載した首輪やマイクロチップで、迷子のリスクを減らしましょう。

5 繁殖制限措置

望まない繁殖を防ぐために不妊・去勢手術を検討しましょう。

犬のしつけ方ワンポイントアドバイス

今日から
できる！



犬の無駄吠えなどで困っていませんか？

犬のしつけで大事なことは良いことをした時にたくさん褒めてあげることです。大声で叱ったり、叩いたりするのは逆効果です。ぜひ実践してみてください。

成犬になってからのしつけはなかなか難しいですが、子犬の頃であれば飼い主でもしつけることができます。

ペットのしつけで 悩んでいる人は…

1人で悩まず、かかりつけの動物病院や保健所に相談してください。山口県動物愛護センターでは「子犬のしつけ方教室」を開催しています。

岡山県動物愛護センター

☎ 083(973)8315